

学外アートプロジェクト

JR香椎駅を彩る巨大なモビールを作成



駅に飾られた動物のモビール



「たくさん的人が笑顔になれる作品を今後も作りたい!」と意欲的に話す高木さん

造形短大の学生たちが、JR香椎駅の駅ビル「えきマチ1丁目香椎」の吹き抜けを飾る巨大モビールを作しました。モビール制作の依頼を受けた学生たちは、秋に飾ることや客層などを考慮して、親しみやすい動物をモチーフにすることを決定。型紙制作から取り組み、一針一針丁寧に手縫いで仕上げました。制作にあたった造形芸術学科1年の高木万由子さん（立花高校）は、「一つひとつが大きいため、仕上げるのは大変でした。全員で協力しながら作つたので、コミュニケーションも深まり、良い経験になりました」と笑顔で語りました。モビールは、昨年9月～11月まで飾られ、買い物客や通勤客の目を楽しませました。

アートフェスタ

須恵町立美術センター久我記念館にて「アートフェスタ」を開催



造形短大「アートフェスタ」を、昨年9月12日（土）～27日（日）に、須恵町立美術センター久我記念館で開催しました。作品展には、昨年度の卒業制作の優秀作品や今年度の授業作品に加え、写真専攻の学生11人が須恵町を撮影した40点の写真も展示。また、9月12日（土）と19日（土）には、「久我記念館を背景に家族写真を撮影からプリントまでしてみよう」や「折り紙建築にチャレンジ」など、それぞれ6つのワークショップを開催しました。期間中、子どもから年配の方まで多くの方が来場し、思い思いにアートとの触れ合いを楽しみました。

卒業制作展

第47回 卒業制作展 展示期間：1月26日（火）～1月31日（日）



展示の準備も学生たちが自ら行います。ぜひ見に来てください



九州造形短期大学卒業制作展を、1月26日（火）～31日（日）まで、福岡市美術館で開催します。バラエティーあふれる学生たちの力作を展示しますので、ぜひお越しください。

受賞

「第19回全国きものデザインコンクール」優秀賞（金賞）と「第7回御供所灯明コンペティション」承天寺賞を受賞



御供所灯明コンペティションの受賞作「きのこの中の世界」



全国きものデザインコンクールの受賞作

造形芸術学科2年の江島由里子さんが「第19回全国きものデザインコンクール（一般／手描の部）で優秀賞（金賞）、「第7回御供所灯明コンペティション」で承天寺賞を受賞しました。「きものデザインコンクール」の受賞作は「宇宙をモチーフにした、きものには珍しいデザインです。『ステンドグラス工房で見たカラフルな色で、月や太陽を描きました。日頃から、斬新なデザインを目指しており、その点を評価していただけたのではないかと思います」と受賞の喜びを語りました。

「御供所灯明コンペティション」の受賞作「きのこの中の世界」は、きのこの型の燈籠に人のシルエットが浮かぶ夢のある作品です。実際にあかりがともされた応募作品が展示されたイベント会場に足を運んだ江島さん。「他の方の作品もきれいで勉強になりました。今後、もっと質の高い作品の制作を目指して頑張ります」と抱負を語りました。

九州造形短大の「第19回全国きものデザインコンクール」入賞者

◆一般／手描の部

賞	学年	氏名	出身校
優秀賞（金賞）	造形芸術学科2年	江島由里子	伊万里高校
入選	造形芸術学科1年	スレスタ イスウォル クマル	ネバール出身
	造形芸術学科1年	檜垣かなほ	九産大付属九州産業高校

◆一般／CGの部

賞	学年	氏名	出身校
入選	造形芸術学科2年	黒田優衣	香椎高校

東区まちめぐりツアー

学生グループが「東区まちめぐりツアー」を企画・運営



お話を聞かせてくれた江島さん（左）と古賀さん（右）



造形短大の学生グループが、昨年10月10日（土）・18日（日）に「東区まちめぐりツアー」を実施しました。造形短大のある福岡市東区の歴史的・文化的なスポットをもっと多くの人たちに知つてもらいたいと考えた学生たち。若い視点から見どころを紹介しようと、「ノトロかわいい東区ツアーア」を企画しました。これは、「東区いきいきまちづくり提案事業」にも採択されました。

学生たちは、ツアーに向けてパンフレットやチラシを制作。材料・「コピー・イラスト制作・デザインをみんなで分担し、仕上げました。また、完成したチラシの配布やSNSでの呼びかけを行なうなど、開催に向けての周知活動にも全員で取り組みました。ツアーには、20代・30代を中心、幅広い年代の方々が参加しました。まちめぐりでの史跡の案内やワークショップでの講師も、学生たちが担当しました。参加者からは「東区に、こんな素晴らしいところがあるとは知らなかつた」「また参加したい」との声が聞かれました。

造形芸術学科2年の江島舞さん（佐賀清和高校）は、「ワークショップで小物作りを指導しましたが、皆さん熱心に取り組んでくださいって、やって良かつたと思います」。同学科2年の古賀千智さん（須恵高校）は、「仲間で一つのことを成し遂げる意義を学びました」と、プロジェクトを振り返りました。